

# はしど



平成31年 3月 1日  
学校だより 第11号  
練馬区立橋戸小学校  
校長 青木俊哉  
<http://www.hashido-e.nerima-ky.ed.jp/>

☆学校教育目標

考える子・思いやりのある子・たくましい子

## よい準備

校長 青木俊哉

「ニイチガニ、ニンガシ、ニサンガロク…」

先週から今週にかけて、校長室にかわいいお客さんがやってきて、九九を唱えて帰っていきます。本校の伝統(?)と言ってよいのでしょうか、校長室での「九九検定」のひとコマです。

担任による日々の学習指導、ご家庭でのご支援とご協力、もちろん子供たち一人一人の頑張りによって、おそらく皆自信をもって唱えられるようになり、校長室に送り出される訳ですが…、「緊張」とは恐ろしいもので、順調に唱えているつもりがふと言い忘れてしまったり、順唱えのはずが途中からなぜか逆に唱えてしまったり、何の段を唱えているのかがわからなくなってしまったり…。最初に「自分の言いやすいペース」

「間違えたり、つかえたりしたら、言い直してよい」ことは伝えてありますが、それでも校長を目の前にして思いがけずつかえてしまうと、どうしてよいかわからなくなるのも無理はありません。私も、

「大丈夫、自信もって、焦らないで…」  
などと、心理面のフォローはしますが、答えを教える訳にもいきませんので、最後は“自分で”解決するしかありません。小さなつまずきを“自力で”克服し、それぞれが小さい山を乗り越えていく、そんなシーンを見守っています。

「クハシチジュウニ、クハチジュウイチ。」

ここまで唱えると、最後にフラッシュカードで“バラ唱え”を確認し合格！計算は、まずは正確に、そし

て速く、いつでもどんな条件でも答えがパッと出せるようになって初めて定着と言えますから、“バラでも”九九が言えることが大事になります。合格証の署名と印には、そんな思いも込めているつもりです。

さて、2年生の「九九検定」の話題を取り上げましたが、今年度をまとめ締めくくる3月は、どの学年でも、このように教科の学びを押さえる学習内容があると思います。また、知識や技能だけでなく、様々な教科の学習で経験した「学び方」も自分のものとして確実に身に付け、次の学年につなげていくことが大切です。ぜひご家庭でも子供たちのこの一年間の学びを振り返り、家庭での学習や会話に加えていただけると幸いです。3週間後には修了式、その翌週は卒業式、短い春休みを挟み、すぐに新学年を迎えます。『よい準備と努力は、よい結果へと導くただ一つの道である』ことは、全校朝会などの機会に何度か話してきました。

「3学期は、新年度の0学期、新年度へのチャージ(充電)期間」とも言われます。残るひと月、一人一人がしっかりと振り返り、“よい準備”につなげられることを願っています。

今年度も、学校行事をはじめとする様々な場で、保護者、地域の皆様にお支えいただき、無事に一年間の教育活動を終えようとしています。皆様のご理解と、ご支援、ご協力に、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。新年度もよろしくお願い致します。